

# 歩いて特典 歩数計アプリ

買い物で使えるポイント、ドリンク、投資資金も一歩いた距離に応じて様々なご褒美がもらえる「歩数計アプリ」が登場している。ゲーム感覚で楽しめるなど、歩きたくなる仕掛けが満載だ。

スマートフォンのアプリ分析ツールを提供するフラータ（新潟市）によると、歩数計機能付きのアプリ利用者は昨年5月から今年5月までの1年間で2.7倍に増えた。コロナ禍での在宅勤務で、意識的に歩く人が増えたとみられる。歩数計アプリの多くは、5000歩や1万歩などの区切りの数字を達成すると特典を付与してくれる。

<p>アプリ名</p> 	<p>アプリ名</p> 
<p>運営元</p> <p>ワン・コンパス</p>	<p>運営元</p> <p>日本コココーラ</p>
<p>特典</p> <p>制限時間内に目標の歩数を達成するとアイテムがたまり、地域名産品などが当たるキャンペーンに参加できる。Tポイントをためることも可能。</p>	<p>特典</p> <p>1週間の目標歩数を設定し、達成するとスタンプがもらえる機能がある。15個集めると1本分のドリンクチケットが入手できる。</p>

日本生命保険の子会社「ニッセイ保険エージェンシー」（東京）は昨年11月このアプリを使って社員向けの健康増進イベントを開いた。「10日連続で毎日30

00歩」を目標に部署ごとにチームを組んで約300人が挑戦。達成した社員に「健脚者の証」カードを付与した。

<p>アプリ名</p>	<p>マネーステップ</p> 
<p>運営元</p>	<p>トラノテック (資産運用・アプリ開発企業)</p>
<p>特典</p>	<p>1日1万歩で3円分、月20万歩で10円分の投資資金が貯まる。連携する投資アプリ「トラノコ」で投資に回す。投資資金の有効期限はない。</p>

フラータの日影耕造さんは、「ポイントなどのご褒美はおまけ程度に考えた方がいい。歩いて健康になったら楽しいし、得した気分になる。アプリはそのきっかけを与えてくれるのだと思う」と話している。

歩数計アプリではスマホのセンサーが歩行動作を判別できず、歩数が計測されないこともある。

スマホのバッテリー量や電波の受信状況なども影響するため、いつも正確に計測されるわけではない。多少の誤差があると理解した上で使おう。

## 空中に浮かぶ、非接触ボタン



自動車バックミラー製造の村上開明堂（静岡市）は京都府のベンチャー、パリティ・イノベーションズと、工学技術を応用した非接触ボタン装置を共同で開発した。

洗浄便座型トイレや銀行ATM、エレベーターなど不特定多数が触れる操作盤に空中映像を浮かび上げさせ、パネルに直接触れずにボタンを押したり、スイッチを入れたりすることができるという。コロナと共存する社会を見据えた商品で、すでに病院などから引き合いがきているという。